

福祉生活協同組合さんコープ

- ◆代表者：理事長 岡崎 悟
- ◆役員：専務理事 永原 久道
- ◆設立：1999年12月17日
- ◆組合員：3,584人
- ◆出資金：27,189千円
- ◆福祉事業収入：508,767千円
- ◆職員数：正規職員数：53名
非正規職員数：99名



「住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい」という願いの実現

私共さんコープは、“共助・協働”をテーマに福祉活動と福祉事業を展開しています。事業活動エリアは現在、山口市・防府市・宇部市・山陽小野田市で、「介護保険事業」と「居住事業」、「たすけあいサービス」を展開しています。

「介護保険事業」では、居宅介護支援事業・訪問介護事業・通所介護事業、看護小規模多機能型居宅介護事業、訪問看護事業に取り組んでいます。

「居住事業」では、宇部有料老人ホーム事業・コープここハウス湯田を運営しています。

「たすけあいサービス」は、さんコープ設立時から取り組んでいる事業で、家事代行（一般的な家事全般）、軽作業（襖・障子の張り替え、草取り・草刈り他）、剪定作業（庭木の剪定・害虫防除等）を展開しています。また、介護保険だけでは対応できない部分を補う為に、訪問介護事業・通所介護事業それぞれで「介護保険外サービス」も提供しています。

高齢化が益々すすむ中、組合員の皆様をはじめ地域の方々から「必要とされ、信頼され、利用される」最も身近な存在として、さんコープは皆様の暮らしをサポートします。まずは、お近くのデイサービス、居住事業所を見学にいらしてください！お待ちしております！

● 居宅介護支援（ケアマネジャー）

介護にかかわるご相談やケアプランの作成などご利用者の視点に立って居宅介護の支援を行っていきます。



● 訪問介護（ヘルパー）

資格を持ったヘルパー・介護福祉士がご自宅を訪問して、日常生活を送れるように支援するサービスです。



● デイサービス

定期的な外出をすることにより、活動性を高めたり、家族の介護負担を軽減することができます。



● 看多機・訪問看護

「訪問介護」「通い」「泊まり」に加え「訪問看護」を同じスタッフが支援でき、その人に合わせた在宅支援を行える柔軟なサービスを行い個々の異なる暮らしを支えることができます。



● 居住事業

身の回りのことがご自分でできる方から、介護の必要な方まで入居でき、おだやかに快適な暮らしを提供します。



● たすけあいサービス

組合員どうしのお互いのたすけあいとして、高齢者の就労、仕事おこし活動として軽作業サービスを行っています。



さんコープは全国の仲間と共に「生協 10 の基本ケア」に取り組んでいます！

「生協 10 の基本ケア」は、介護に対する生協の姿勢を「3つの理念」と「10の具体的な行動」で表したもので、1つ1つの行動に10の思い、つまり全部で100の思いが込められています。

さんコープも、これらの思いを胸に、利用者が住み慣れた我が家で安心して暮らせるよう、日々利用者と一緒に向き合いながらサービス提供しています。

生協10の基本ケア ふだんの暮らし、そのままに。

生協がたいせつにしている介護

その1 尊厳を守る その2 自立を支援 その3 在宅を支援

1 換気をする



病気予防には換気が大切。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。

2 床に足をつけて座る



日常生活がハビリという考えの下、足を使って立ち上がる習慣を身につける中で、トイレやお食事など自分でできることを増やします。

3 トイレに座る



トイレで排泄する事は人間が暮るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。

4 あたためい食事ををする



ご自身で調理して盛りつけたり、親しい方と楽しく食べたり。摂食(ごえん)防止のために、食事前には口の体操も行います。

5 家庭浴に入る



湯船にゆったりつかる習慣は日本のすばらしい文化。生活リハビリの効果を生かして家庭浴への入浴を大切にしています。

6 座って会話ををする



安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。

7 町内におでかけをする



慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つためにも大切なこと。これまでの生活リズムを維持できるようにします。

8 夢中になれることをする




自分らしく、好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。

9 ケア会議をする



ご自分の街で住み続けられるように、社会性と暮らしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。

10 ターミナルケアをする



元気な時から人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。



自分の足で立ちあげる訓練。いくつになっても鍛えられる。



入居者さんが集まって自由に好きなことをするサークル活動。



取り組みの意味や目的は利用者さんともしっかり共有。



下肢筋力は在宅での暮らしの為にとても大切。



出来ることはやる。すると、食事は更に美味しくなる！



皆で協力して、楽しく、時にはドキドキしながら頭と体を刺激する。

ホームページ
QRコード

